

平成25年度第3回

# 中小企業景況調査報告書

平成25年10月～12月期 報告  
平成26年 1月～ 3月期 予測

千葉県商工会連合会

# 中小企業景況調査報告書

平成 25 年 10 月～12 月期

## 調査要領

### 1. 調査対象

#### (1)対象地域

11 商工会地域 千葉市土気商工会、鴨川市商工会、鎌ヶ谷市商工会、富津市商工会、南房総市内房商工会、匝瑳市商工会、いすみ市商工会、酒々井町商工会、栄町商工会、多古町商工会、長柄町商工会

(2)対象企業数 165 企業(11 商工会×15 企業)

(3)回答企業数 165 企業

2. 調査対象期間 平成 25 年 10 月～12 月を対象とし、調査期間は平成 25 年 11 月 5 日～11 月 15 日である。

3. 調査方法 商工会の経営指導員による訪問面接調査。

#### (1)産業別構成

業 種	回答企業数	構成比(%)
製 造 業	28	17.0
建 設 業	31	18.8
小 売 業	46	27.9
サービス業	60	36.3
合 計	165	100.0

#### (2) 業種別構成

##### ① 建設業

業 種	回答企業数	構成比(%)
総合工事業	15	48.4
職別工事業	7	22.6
設備工事業	9	29.0
合 計	31	100.0

② 製造業

業 種	回答企業数	構成比(%)
食料品製造業	6	21.4
プラスチック製品製造	5	17.9
印刷・同関連業	1	3.6
窯業・土石製品製造業	1	3.6
金属製品製造業	5	17.9
生産用機械器具製造業	4	14.3
業務用機械器具製造業	2	7.1
電気機械器具製造業	1	3.6
その他の製造業	3	10.7
合 計	28	100.0

③ 小売業

業 種	回答企業数	構成比(%)
各種商品小売業	1	2.1
織物・衣服・身の回り品小売業	5	10.9
飲食料品小売業	16	34.8
自動車・自転車小売業	3	6.5
家具・建具・じゅう器小売業	5	10.9
合 計	46	100.0

④ サービス業

業 種	回答企業数	構成比(%)
一般飲食店	25	41.7
宿泊業	6	10.0
運送業	3	5.0
自動車整備業	7	11.7
洗濯・理美容業	12	20.0
その他のサービス業	7	11.7
合 計	60	100.0

本報告書中の[DI 値]とあるのは、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で、各調査項目についての増加(好転、上昇)企業割合から、減少(悪化、低下)企業割合を差し引いた値を示すものである。

## I. 県下中小企業の景況

### “景気回復の享受よりマイナス要因に引きずられる小規模企業”

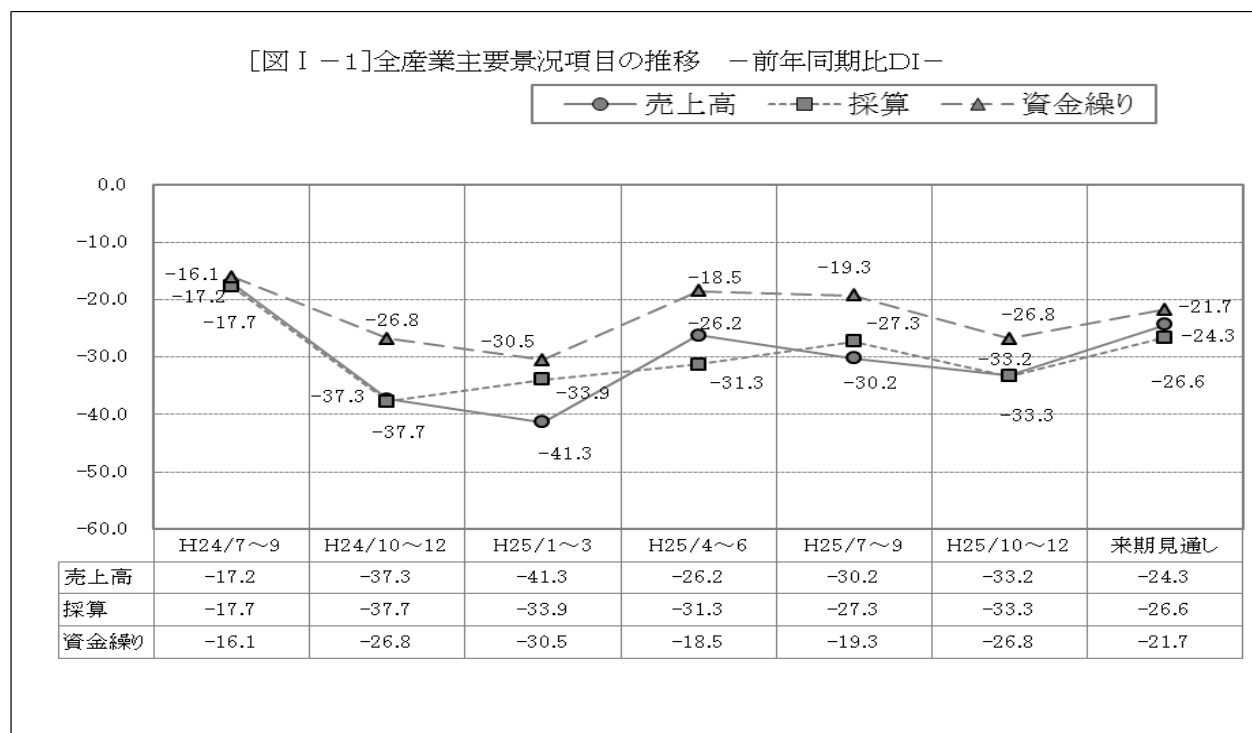
千葉県商工会地区の平成 25 年 10～12 月期中小企業景況調査結果によると、産業全体の景況感は[図 I -1]に示したとおり、今期売上高 DI 値は-33.2 で前年同期（平成 24 年 10～12 月期、-37.3）比で 4.1 ポイント良化、同採算 DI 値は-33.3 で前年同期（-37.7）比で 4.4 ポイント良化、同資金繰り DI 値では-26.8 と前年同期と同値になっている。

また、前期（平成 25 年 7～9 月期）調査と比較してみると、売上高 DI 値、採算 DI 値、資金繰り DI 値のすべてが悪化している。

さらに今期の業種別内訳をみると、製造業では前年同期（平成 24 年 10～12 月期）との DI 値比較において全項目で良化しているが、前期と比べると売上高が良化したものの、採算は悪化、資金繰りは横ばいとなっている。建設業は前年同期との比較で、売上高と採算が良化の一方、前期との比較では全ての DI 値で悪化を示している。小売業では前年同期比で全項目良化を示すも、前期との比較では売上高と資金繰りが悪化。良化したのは採算のみとなっている。最後にサービス業は、下げ止まりが見られず全ての項目の DI 値が悪化している。

このように、今期は全体的に対前年同期比で良化を示しているものの、前期比ではやや悪化傾向にあり、依然続く需要停滞感、近隣諸国との関係悪化などによる受注減少や資材高騰等、景気回復の恩恵を阻害する要因が数多い状況である。














それでも来期（平成 26 年 1～3 月期）については、全業種で改善の見通しを立てており、景気の持ち直しだけでなく、消費税増税前の駆け込み需要や、今まで更新を我慢していた事業者の設備投資等を盛り込んでいるものと思われる。



## Ⅱ. 各産業の景況

### 1. 製造業の景況

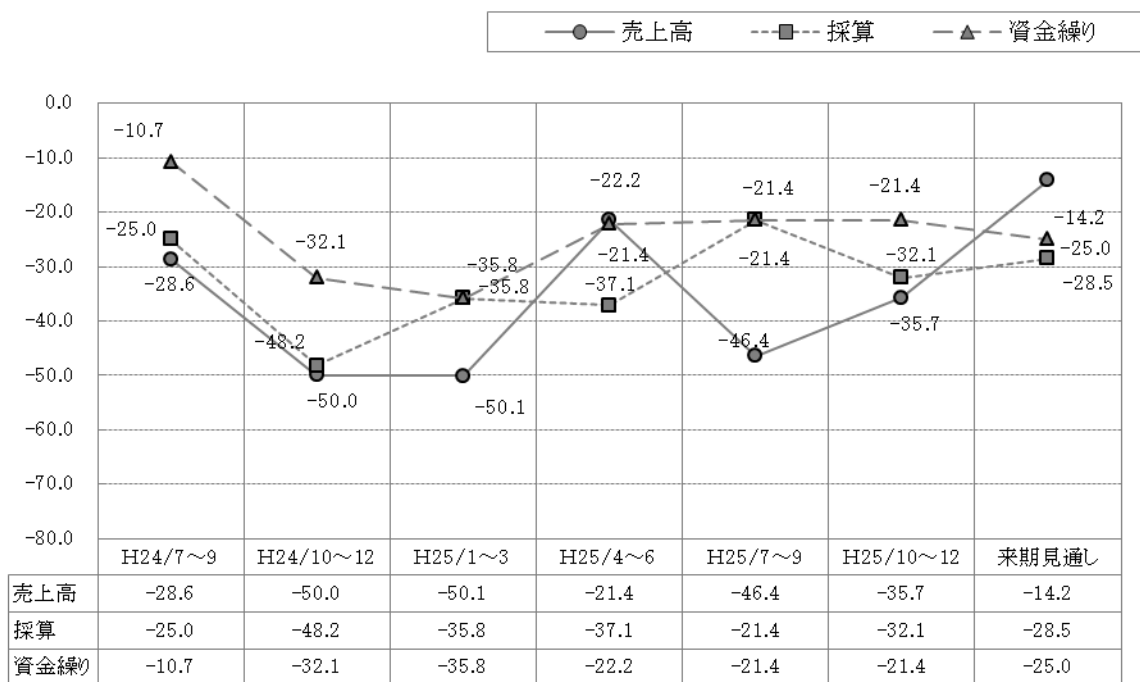
#### “景況感のジリ下がり続く”

	今期の景況	来期の見通し	
売上高			 :DI 値 +30～
採算			 :DI 値 +10～+30
資金繰り			 :DI 値 +10～-10
総合			 :DI 値 -10～-30
			 :DI 値 -30～

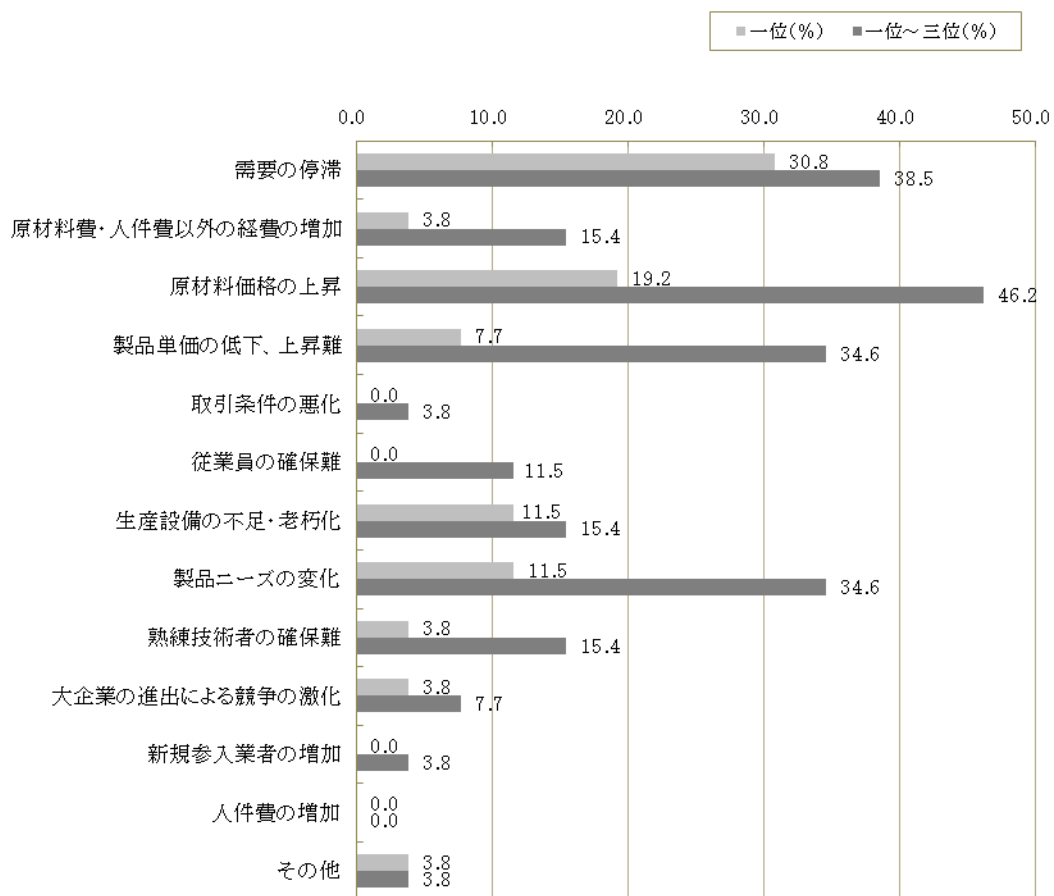
千葉県商工会地区における製造業の景況は、前回同様に一進一退の状況が続いており、本格的回復に向かって踏み出せていない。今後の見通しも事業者によってバラツキが目立ち、景気回復の恩恵を享受している事業者と、需要停滞感や原材料価格上昇の影響の方を強く感じている事業者に差ができています。

このような状況において、今期の新規設備投資はなかったが、来期計画では工場建物、生産設備、OA機器の導入が各1社ずつ予定されている。

[図Ⅱ-1] 製造業主要景況項目の推移 - 前年同期比DI -
















[図Ⅱ-2] 製造業 経営上の問題点の状況



## 2. 建設業の景況

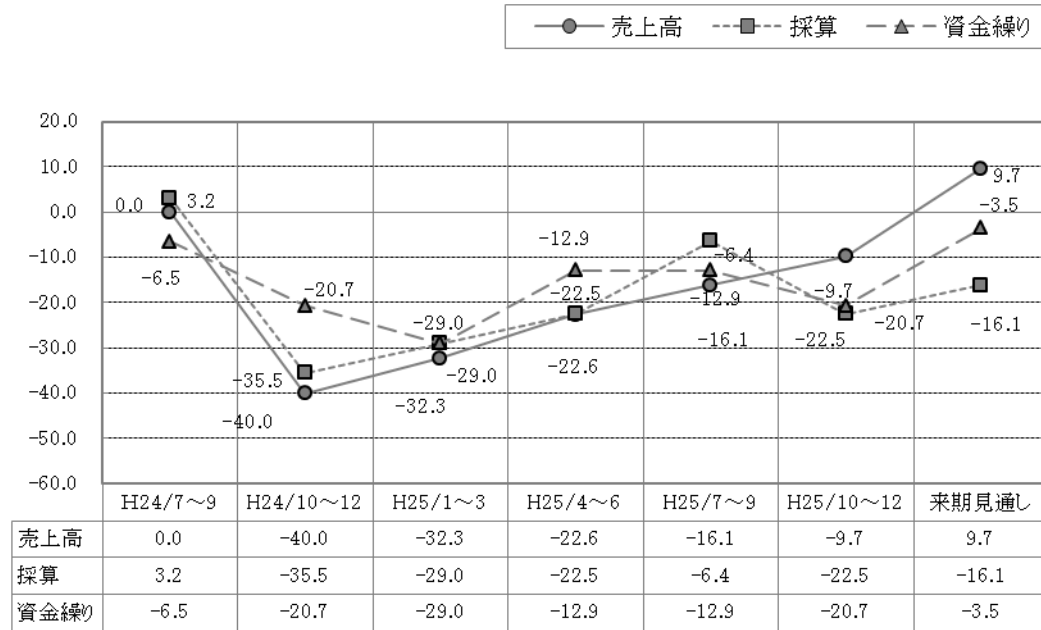
### “受注好調も、人手不足と採算悪化の不安が”

	今期の景況	来期の見通し	
売上高			 :DI 値 +30～
採算			 :DI 値 +10～+30
資金繰り			 :DI 値 +10～-10
総合			 :DI 値 -10～-30
			 :DI 値 -30～

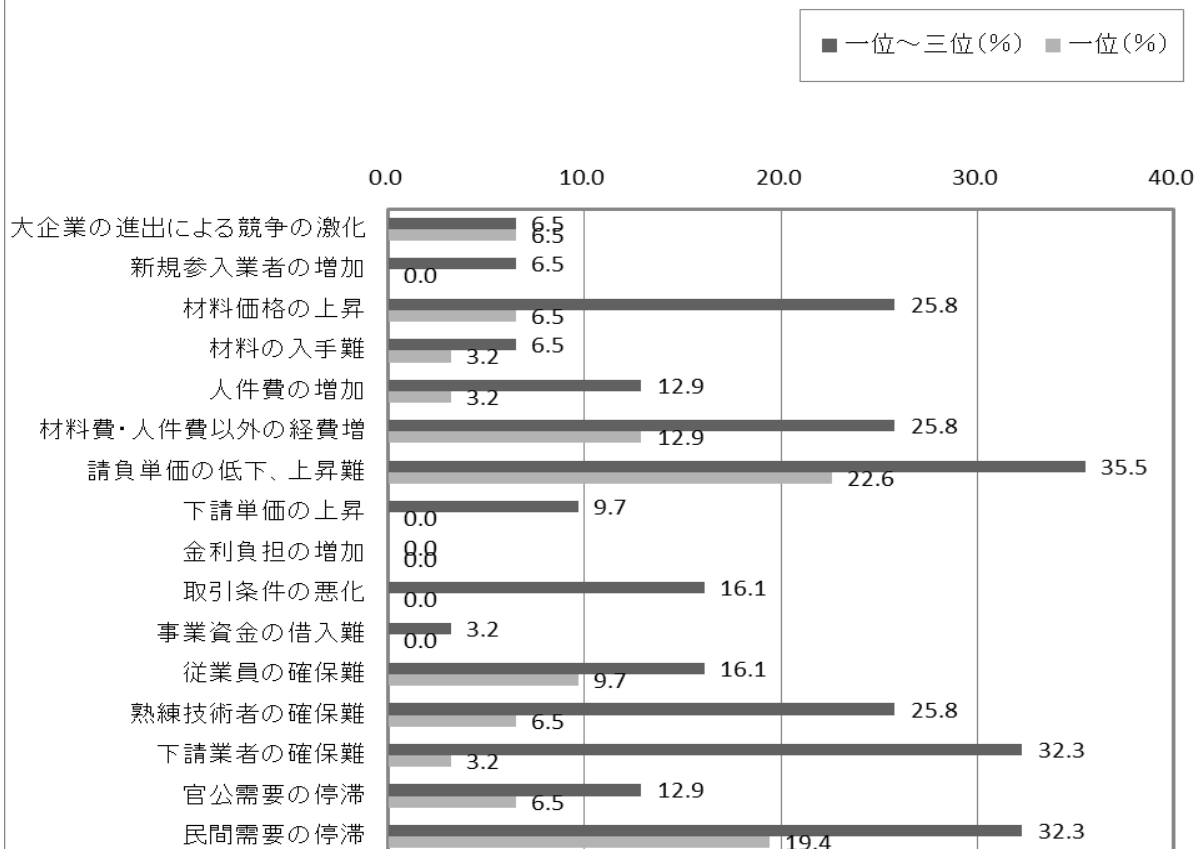
千葉県商工会地区における建設業の景況は、売上高 DI 値が4期連続の改善を示したほか、来期の見通しにおいては全業種中唯一 DI 値がプラスに転じている。しかしながら、受注単価の上昇難、材料費高騰、人手不足による人件費上昇リスクというマイナス要因も数多く、売上高 DI 値と採算 DI 値の乖離が期を追う毎に大きくなってきているあたりに事業者の懸念が見て取れる。

新規設備投資については、車両運搬具の導入が2社、その他建物構築等3件の設備投資が行われた。来期計画では建物、車両運搬具、OA機器の導入予定について4件の回答があった。

[図Ⅱ-3]建設業主要景況項目の推移 - 前年同期比DI -
















「図表Ⅱ-4」建設業 経営上の問題点の状況





### 3. 小売業の景況

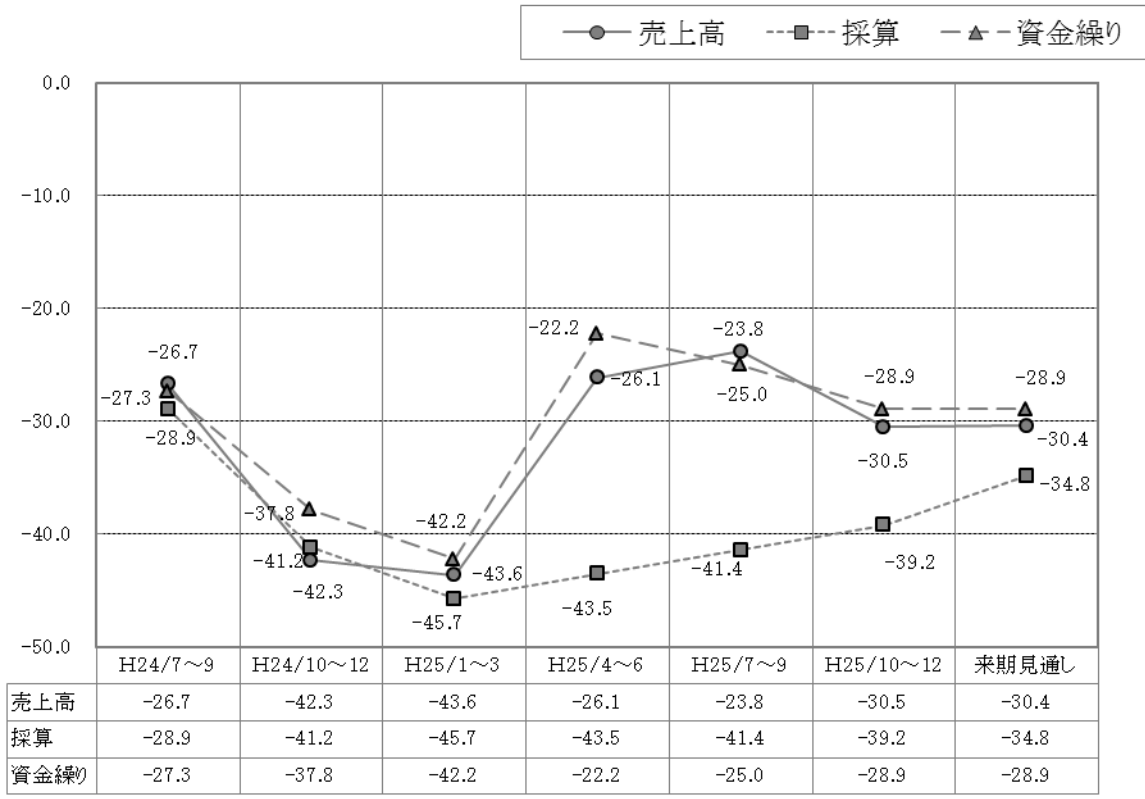
“消費の停滞感は続くも、徐々に採算持ち直し感広がる”

	今期の景況	来期の見通し	
売上高			 :DI 値 +30～
採算			 :DI 値 +10～+30
資金繰り			 :DI 値 +10～-10
総合			 :DI 値 -10～-30
			 :DI 値 -30～

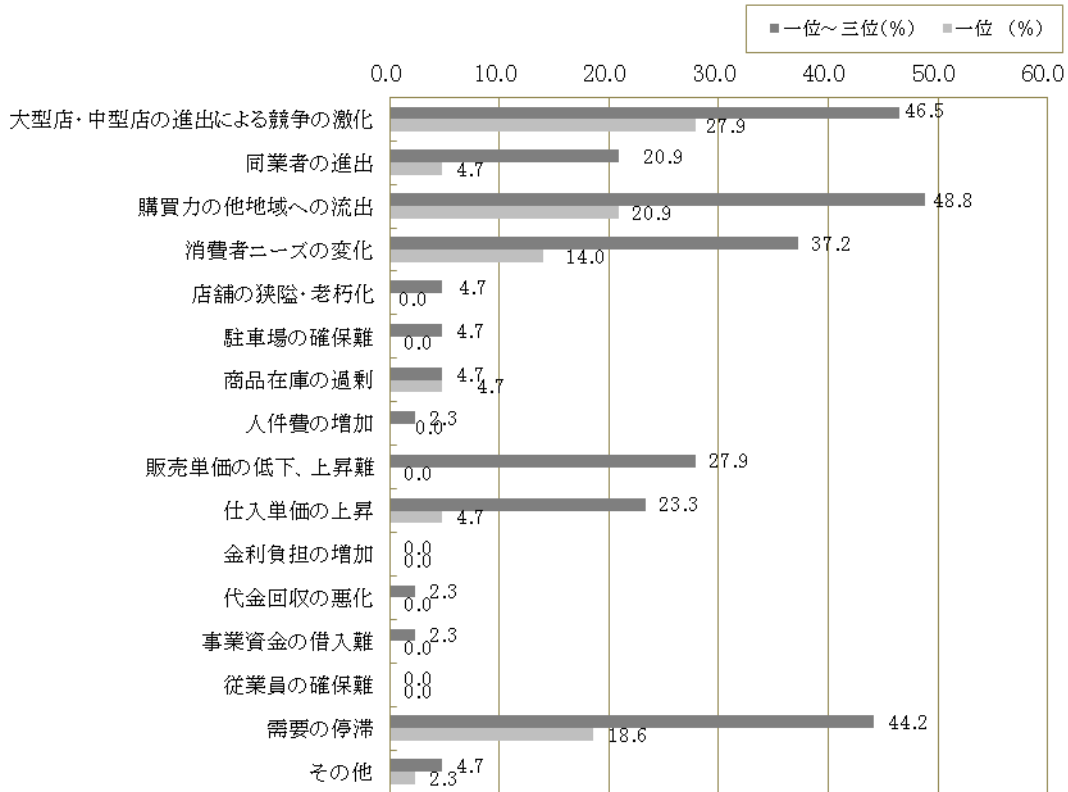
千葉県商工会地区における小売業の景況は、従来通り、大型店進出等による購買力の流出に苦しむ姿が浮き彫りとなっている。しかし、仕入価格上昇や単価の伸び悩みも重なる中で自社の強みを活かしていく努力が続いており、小幅ではあるが採算 DI が 3 期連続で改善傾向を示している。また、今後の見通しについても採算の持ち直し傾向が持続すると予測されている。消費税増税を控えて厳しい状況は続くが、足腰の強い企業づくりに向けて小規模企業の更なる頑張りが期待される。

なお、今期の新規設備投資は車両運搬具 1 件だった。来期計画では 4 事業者から販売設備、車両運搬具、付帯施設、OA 機器の導入を予定していると回答があった。

[図II-5]小売業主要景況項目の推移 - 前年同期比DI-
















[図II-6]小売業 経営上の問題点の状況



#### 4. サービス業の景況

### “ニーズ対応と利幅低下に苦しむ”

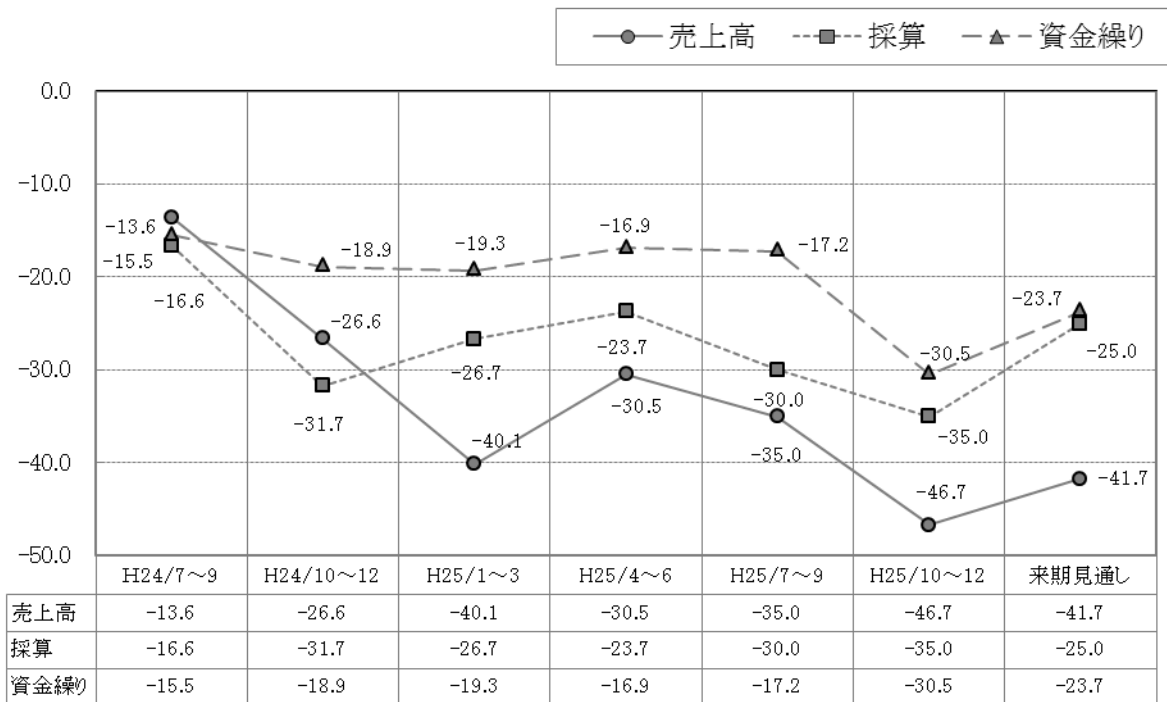
	今期の景況	来期の見通し	
売上高			 :DI 値 +30～
採算			 :DI 値 +10～+30
資金繰り			 :DI 値 +10～-10
総合			 :DI 値 -10～-30
			 :DI 値 -30～

千葉県商工会地区におけるサービス業の景況は、全業種中もっとも厳しいものとなった。利用者ニーズの変化に対する対応と、需要停滞感を訴える事業者がそれぞれ半数を占めており、加えて単価減と仕入価格上昇が追い打ちをかけている構図となっている。

来期の見通しについては全項目で改善傾向を見込んでいるが、他業種と比べればまだまだ低調な推移となっており、経営革新計画の策定等を通じて、付加価値の高いサービス提供をはじめとした経営力向上への取組みが早急に必要と思われる。

新規設備投資については、車両運搬具をはじめ5件の導入実績があり、来期計画では車両運搬具、OA機器、建物、土地、サービス、付帯施設等、計8件の導入について回答があった。

[図Ⅱ-7] サービス業主要景況項目の推移 - 前年同期比DI -



[図Ⅱ-8] サービス業 経営上の問題点の状況

